

## 令和2年留萌市教育委員会第1回臨時会会議録

- 1 開 会 日 時 令和2年2月12日(水) 午前10時00分から
- 2 開 催 場 所 留萌市役所 3・4号会議室
- 3 出 席 者 教 育 長 武 田 浩 一  
委 員 西 川 知 恵  
委 員 松 村 香 里  
委 員 野 島 操  
委 員 山 本 浩
- 4 出席事務局職員 教 育 部 長 遠 藤 秀 信  
学 校 教 育 課 長 柏 原 俊 博  
生 涯 学 習 課 長 小 林 慶 一  
学 校 給 食 セ ン タ ー 長 松 本 洋  
子 育 て 支 援 課 長 石 塚 隆  
保 育 推 進 室 長 佐 伯 忠 昭  
子 ども 発 達 支 援 セ ン タ ー 長 松 下 高 広  
学 校 教 育 課 庶 務 係 長 二 木 栄 吉
- 5 傍 聴 者 なし
- 6 教育長の報告の要旨 なし
- 7 議 事 日 程 別紙のとおり
- 8 議題及び議事の概要 別紙のとおり

令和2年留萌市教育委員会第1回臨時会 議事日程

日 程	事 件 番 号	事 件 名	結 果
1	協議第3号	令和2年度教育行政執行方針（原案）について	了

発言者	発言内容
武田教育長	<p>ただ今から、「令和2年留萌市教育委員会第1回臨時会」を開催いたします。</p> <p>本日の議事署名委員は「松村委員」にお願いしたいと思いますので、よろしくお願いします。</p> <p>それでは、議案審議に入ります。</p> <p>日程1、協議第3号「令和2年度教育行政執行方針（原案）について」を議題といたします。</p> <p>事務局からの説明を求めます。</p>
遠藤教育部長	<p>日程1、協議第3号「令和2年度教育行政執行方針（原案）について」のご説明をいたします。</p> <p>1月22日開催の第1回定例会において「令和2年度留萌市教育行政執行方針」について、4つの部門への各事業の位置づけ、キーワードなどイメージとする内容で説明しましたが、今般、原案ができあがりましてので、ご説明いたします。</p> <p>なお、関連の予算事業については、ご配布の令和2年度主要施策一覧表に掲載のとおりです。</p> <p>それでは1ページから説明いたします。</p> <p>昨年の執行方針では「私たちを取り巻く現代社会は、」から「大きく変化してきております。」との表現から、平成から令和に元号が変わったこともあり、「令和という新しい時代を生きる子どもたちの未来は、」とし、「社会が大きく変化していくものと見込まれます。」としております。</p> <p>また、去年は「この現代社会にあっても、」という書き出しから始めておりましたが「こうした社会変化の中、」としております。</p> <p>「そのような様々な課題に」以降の内容では、元号を令和に変更したのみとなっております。</p> <p>このあとに、「学校教育」「社会教育」「教育環境」「子ども・子育て支援」の順で主要な施策の説明を記載しております。</p> <p>2ページでは、学校教育の充実として、第1の柱に『確かな学力を身に付けるための教育の充実』を掲げております。</p> <p>学校間の連携・接続の推進については昨年同様ですが、今年度は「ICT教育について」の部分では、教育の情報化としての教科書の有効活用に向けたQRコード、現在、国が進めている「GIGAスクール構想」について、また、子供たちが一人一人、主体的にICTを使用した学習できる環境を計画的に進めることについて記載しております。</p> <p>「外国語教育の充実」では、令和2年度からの教科化となる英語教育の充実とともに、中学校における全国学力学習状況調査結果の分析を踏まえた授業改善に取り組むこととし</p>

ております。

「児童生徒の確かな学力の育成について」は、各種の調査結果を踏まえた、学校における検証や改善から、「学習の質を一層高める授業改善」と「学校と家庭が連携した望ましい生活習慣の確立」を両輪とした取り組みの充実に努めるとしてしております。

実情に応じた学びの支援については、特別支援教育支援員を適切に配置し、計画的・継続的に学校全体で支援する体制の充実に努めるとしてしております。

第1の柱に関連の予算事業は一覧表の1ページに、小学校教育用ICT機器更新事業2,497万9千円外を記載しております。

3ページでは、第2の柱、『豊かな心の育成』として掲げ、地域資源を活用したふるさと学習の機会の充実を図ります。特に日本一の生産量を誇るかずの子について学ぶ授業の充実や「かずの子給食」の取り組みの記載は昨年と変更はありません。

「特別の教科 道徳」の全面実施から、昨年「授業実践や評価の在り方を含めた指導方法の一層の充実に努める」から今年「考え、議論する道徳」への授業改善を推進し、保護者などへの授業公開や家庭や地域との共通理解、相互の連携を図るとしてしております。

いじめ、不登校などの対応については、着実な対応をとることから、昨年と大きな変更はありません。

スクールカウンセラー（SC）やスクールソーシャルワーカー（SSW）など専門知識の活用と関係機関との連携協力により支援の充実を図るとしてしております。

読書活動の推進についても、昨年と同様の記載としております。

学校配分における小中学校の図書購入費に加え、学校図書館の標準冊数に満たない学校に対する図書購入費の増額を行うことにより、図書の充実を図るとともに、市立留萌図書館との連携や学校図書館ボランティアの協力を得ながら魅力のある学校図書館づくりを進めていきます。

第2の柱に関連の予算事業は一覧表の2ページに、スクールソーシャルワーカー活用調査研究事業31万8千円外を記載しております。

5ページでは、第3の柱として『健やかな体の育成』を掲げ、「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の分析から、個に応じた体育の授業改善、各校における特色のある体力づくりの取り組み、コーディネーショントレーニングなどにより、体力・運動能力の向上を目指してまいります。

また、運動のほかに、成長期の体格や体力向上のため、食

育の充実は重要なこととであり、栄養教諭による食に関する指導や、地元食材活用の給食事業、農業体験学習を通じて、農業への関心と理解、食に関する知識や関心を高める取り組みを進めます。

第3の柱では今年度と大きな変更点はありません。

第3の柱に関連の予算事業は一覧表の2ページに、学校給食地元食材活用事業48万9千円外を記載しております。

同じく5ページでは、第4の柱として、『教職員の資質・能力の総合的な向上』を掲げております。

去年は、「教職員としての必要な資質・能力の向上のために、自主的に参加する研修に対する予算の措置」としておりましたが、今年は「教職員には様々な今日的教育課題に迅速かつ的確に対応できる資質・能力を身につける」としております。

また、小学校における英語の教科化や新たにプログラミング教育などの充実に向け、新たな教科課題等の研究を留萌市教育研究協議会に委託するなど、教育水準向上のための調査研究に対し、支援していくこととしております。

第4の柱に関連の予算事業は一覧表の3ページに、教育委員会事務局統轄事業、教職員研修旅費20万円外を記載しております。

6ページでは、第5の柱として、『信頼される学校づくりの推進』を掲げております。

3年目を迎えたコミュニティ・スクールは、学校と地域が連携・協力して子どもの成長を支える体制の構築と強化に向けた取り組みを進めてまいります。

学校力向上、特色ある学校づくりについては、昨年と同じ内容としております。

去年、「教職員の時間外縮減について」から「子供たち向き合う時間の確保に努める」としていましたが、今年はそのためにどのような内容で進めるのかということを中心に、「統合型校務支援システムの本稼働」や、既に実施をしているところですが、「長期休業中の学校閉庁日の設定など、留萌アクションプランや部活動の在り方に関する方針に基づいて取り組みを着実に進める」としたところです。

第5の柱に関連の予算事業は一覧表の3ページに、小学校教育振興事業（特色ある学校づくり：校長配分）127万6千円外を記載しております。

7ページの「社会教育の充実」では、第1の柱を『生涯教育の充実』と掲げ、生涯学習プログラムの充実を、幼・少年期から高齢期まで、多様な学習ニーズに対応する魅力ある講座の企画や学習内容の充実などに努めます。

P T A活動については、保護者・教職員がともに未来を創

る子どもたちへの想いを共有し、家庭・学校・地域とともに「PTA研究大会事業」を継続して取り組みます。

この2点については昨年と同様としております。

また、子どもたちの人格形成の基礎が作られる時期に学びや体験をする場を提供する「寺子屋・るもいっこ」事業については、教育委員会は継続して連携することを記載しているところです。

第1の柱に関連の予算事業は一覧表の4ページに、指定管理事業として、「ブックスタート」「おはなし会」「読書感想文コンクール」「あかしあ大学」外を記載しております。

8ページでは、第2の柱『生涯スポーツの推進』として、生涯スポーツに向けた環境づくり、スポーツ活動への参加機会の提供、スポーツ人口の拡大については、新年度も同様としてしているところです。

市民の健康増進に資する、温水プール「ふるも」については、昨年と同様に開設の予定ですが、利用者の拡大と、その一環として「水泳教室」の回数増加に取り組みます。

また、今年「冬季スポーツやレクリエーション活動の充実」については圧雪車の整備、冬の学びや遊びを体験できる場所として神居岩スキー場クロスカントリーコース等の環境整備を行うことについて記載しています。

第2の柱に関連の予算事業は一覧表の4ページから5ページにかけ、子どもの体力アップ推進事業委託料61万3千円外を記載しております。

9ページでは、第3の柱、『芸術・文化活動の推進と歴史の伝承』を掲げ、芸術・文化活動の推進につきましては、文化振興に関する講演会・研修会や大会派遣費に対する助成制度を継続するとともに、新年度には「航空自衛隊中央音楽隊招致事業」の実施について記載しております。

子どもたちの文化活動の記載は、昨年度と変わりありません。

国指定重要有形民族文化財「留萌の鯨漁撈用具」と国指定史跡「旧留萌佐賀家漁場」の利活用については、これまでと同様に促進に努めてまいります。新年度では「郷土歴史保存活用事業」として、三船殉難事件に関する児童生徒向け冊子を作製し、平和の大切さを伝えていくこととし、生徒向けに冊子を作成し、愛郷心を育てまいります。

留萌市文化財の指定についての記載は変更ありません。

第3の柱に関連の予算事業は一覧表の5ページから6ページに芸術文化振興助成金100万円、子どもたちの伝統文化体験事業64万1千円外を記載しております。

10ページの、「教育環境の充実」では、第1の柱を『安全・安心な教育環境の確保』として、学校教育施設の老朽化

から、計画的な整備を進めるため「留萌市学校施設整備計画」「留萌市教職員住宅整備計画」に基づいて、安全・安心な教育環境づくりに取り組みます。

新年度では、「留萌中学校の大規模改修」「テニスコートの整備」「港南中学校の屋上防水」「教職員住宅の改修工事」を進め、安全・安心な教育環境を確保します。

学校給食センターでは、各種衛生管理マニュアルによる事故防止、異物混入対応の徹底と「留萌市学校給食センター調理衛生環境改善及び調理機器更新計画」に基づいて、引き続き安全・安心な学校給食の提供に努めるとし、具体には「カートイン消毒保管機」「テーブル型消毒保管機」を整備することを記載しております。

社会教育施設については、「留萌市社会教育施設維持管理計画」に基づき、計画的な施設の維持・保全に努めます。

第1の柱に関連の予算事業は一覧表の7ページに、留萌中学校整備事業（大規模改修工事、テニスコート2面整備）4億1,855万8千円外を記載しております。

11ページには、第2の柱『児童生徒の安全対策の充実』を掲げ、スクールガードリーダーの配置や留萌市通学路安全推進協議会による合同点検など、地域ぐるみで通学路の安全確保に取り組みます。

第2の柱に関連の予算事業は一覧表の8ページに、スクールガードリーダー配置事業17万1千円、スクールバス運行事業1,743万1千円を記載しております。

同じく11ページには、第3の柱の『教育環境の維持向上』を掲げ、学校の適正規模化について、「留萌市立小中学校の適正規模等に関する基本方針」に基づき、子どもたちの望ましい教育環境を最優先に考えた教育環境の整備に努めるとともに、全ての児童生徒が安心して必要な力を身に付けることができるよう、就学援助制度の適切な周知や実施に努めます。

また、安心して学校生活を送ることができるよう、日本スポーツ振興センター災害共済に加入し、「日本スポーツ振興センター保護者負担金給付金」により、保護者の負担軽減を図ります。

第3の柱に関連の予算事業は一覧表の8ページに、日本スポーツ振興センター保護者負担金給付金48万4千円を記載しております。

12ページの「子ども・子育て支援の充実」では、子ども・子育て家庭などを支援するため、「留萌市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、様々な事業の実施に向けて取り組みます。

子育て支援センターを子育て施策の拠点と位置付け、育児

	<p>不安などの相談や親子交流の機会を提供や、子どもたちの安全・安心な居場所である児童センターや留守家庭児童会と連携し、地域で子育てを応援する体制づくりを進めます。</p> <p>子育て世代への負担軽減については、国の幼児教育の無償化の対応と3歳児未満の第2子の保育所保育料の無償化、「病児保育事業」についても記載し、ファミリーサポートセンター事業などの展開により、子育てと仕事の両立支援について進めてまいります。</p> <p>待機児童対策では、小規模保育事業所による待機児童の解消、保育士確保対策助成金、保育所利用者負担額免除事業に取り組み、保育士の確保に努めます。</p> <p>子ども発達支援センターは、本年2月から名称を変えスタートしましたが、引き続いて子どもの実態に応じた療育と北海道の指定により、追加の3事業の実施をしております。</p> <p>また、療育内容の充実を図り、地域の療育拠点としての役割を果たしてまいります。</p> <p>青少年の健全育成では、昨年と同様ですが、「青少年は地域から育む」という視点にたち、地域ぐるみで子どもたちを守り育てる環境づくりを進めるとともに、留萌市青少年健全育成推進員協議会との協働を基本とし、引き続き「青少年健全育成事業」の充実に努めます。</p> <p>子ども・子育て支援に関連の予算事業は一覧表の9ページに保育士配置等補助金980万3千円、多子世帯保育所保育料軽減支援事業、母親クラブ活動費補助金113万4千円外を記載しております。</p> <p>以上、「令和2年度教育行政執行方針（原案）」の説明とさせていただきます。</p>
武田教育長	<p>質疑に入ります。</p> <p>只今の説明に対しまして、ご意見等はございませんか。</p>
山本委員	<p>基本的には前年度踏襲から、新たな形でまとまって良いと思います。</p> <p>ただ、気になる点が3点ほどあります。</p> <p>1点目は、3ページの外国語教育で授業改善という言葉を使い、学力の育成でも授業改善、4ページの道徳教育でも授業改善、さらに体力の向上でも授業改善という言葉を使っており、授業改善という響きは良いが、それぞれ中身は違うと思うので、もう一工夫検討をお願いしたいと思います。</p> <p>2点目は、2ページのICT教育については分かりませんが、他のものと比べると長く、もう少し圧縮することで、読む方も、聞く方も、まとめることで良くなると思います。</p> <p>最後に1点、6ページのコミスクについてですが、教育委員会事務局として、今まで2年間、留萌市で取り組んできた</p>



	<p>現状で、そのままが良いということであれば、私は構いませんが、当初、コミスクの3つの役割からすると、保護者アンケートを踏まえた実績から、その様に進めている学校はあまりないというのが現状だと思います。</p> <p>3年目を迎え、この書き方でも良いですが、方針というのは、前年度の反省を踏まえての新たな事業、新たな事業がなくてもこのままで良いか等を検証してつくるものだと思います。</p> <p>なぜかという、本来は学校という共同体で、生涯学習とも関係がありますが、社会に開かれた教育課程ということを言われており、実践している学校は留萌市内2校位だと見えています。</p> <p>そして、それが先生方の働き方改革にもつながると言われてきています。</p> <p>色々な意味で、地域の人達に教育力を活用してもらうことも、コミスクが作られた大きなひとつの狙いであり、そのあたりを検討してもらえたらと思います。以上3点です。</p>
<p>柏原学校教育課長</p>	<p>I C Tの部分につきましては、文言を整理していきたいと思えます。</p> <p>授業改善という言葉につきましても、あらためまして、違う分かりやすい表現にしていきたいと思えます。</p> <p>コミスクの部分につきましては、周知不足している点を踏まえ、新年度に入り、広報5月号、若しくは、6月号に特集を組みまして、具体的に学校で協力してほしい事を含め、P Rに努めていきたいと考えております。</p> <p>書き方としては、P Rした結果を受けて、次の年に向けて検討したいと思えます。</p> <p>まずは、広報を利用したの再周知から組み立てていきたいと考えております。</p>
<p>武田教育長</p>	<p>他にご意見等はございませんか。</p>
<p>野島委員</p>	<p>4ページですが、いじめ、「不登校などの対応につきまして」の記載内容が、非常にとおり一辺倒な印象を与えます。</p> <p>主要施策一覧表の予算を確認させていただくと、ちょっと予算も不足している感じがします。</p> <p>今の留萌市で、不登校が何人いるかということについて、あまり存じ上げないところもありますが、不登校がいることは確かで、保護者としては何を望むのかというあたりが、一歩踏み出したとしても、この予算ではどうなのかという思いがあります。</p> <p>いじめに関しては、これで良いと思えます。</p> <p>不登校に関しては、もう一歩踏み出した施策があっても良いのではないかと思います。</p>

武田教育長	<p>不登校に関しては、市議会の方でも質問があり、不登校の児童生徒の学校以外での居場所づくり等も検討していきたいと答えておりますので、そのあたりも含めて、もう少し踏み込んで記載できるか検討していきたいと思えます。</p> <p>他に発言がなければ、協議第3号は、只今のご意見も踏まえまして、このような方向で進めさせていただきます。</p> <p>以上をもちまして、令和2年留萌市教育委員会第1回臨時会を閉会いたします。</p>
-------	---

終了 午前10時35分

教育長

署名委員